

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第2号

講座2：歴史散策①木下地区

5月25日(土)、木下まち育て塾の伊藤会長を講師にお招きして、木下河岸地区を巡る歴史散策を行いました。木下まち育て塾とは、木下街道の始点であった木下河岸、木下・六軒地区に残る歴史的資料や町屋の保存・活用を通して、まちを元気にしようとする市民が参加・活動する団体です。

木下河岸は江戸から明治にかけ、利根川水運の要衝の地として大いに栄え、文化・文政年間(1804～1830年)には利根川を下って、香取、鹿島、息栖の三社を参拝し銚子の磯を楽しむ、「木下茶船」の旅が大流行し、最盛期には50軒あまりの旅籠や飲食店が軒を連ねていました。さらに明治時代になると蒸気船が就航し、年間約3万人の人が木下に宿泊し、まちは大いに賑わったといえます。しかしその後の成田鉄道の開通による木下駅などの開業と、利根川の河川改修に伴い、木下河岸周辺の家々が木下駅周辺に移転したため、木下河岸はその役割を終えました。残念ながら往時の建造物はほとんど残っていませんが、その痕跡を訪れ、講師の先生に用意していただいた当時の写真を見ながら、栄華を極めた木下河岸地区の歴史を学ぶ貴重な機会となりました。コースは、中央公民館→武蔵屋→旧木下橋→木下河岸跡→山根山不動尊→吉岡問屋倉庫→木下交流の杜歴史資料センター→木下貝層→上町観音堂→木下小学校・印旛高校発祥の地→木下駅→中央公民館です。天候にも恵まれ、心地よい散策となりました。



東洋一を誇った手賀沼排水機場



木下河岸跡の説明版



河岸問屋吉岡家の倉庫



木下貝層で作られた灯篭



二対の狛犬がある山根山不動尊



木下交流の杜歴史資料センター



JR 木下駅の案内説明版



国天然記念物の木下貝層



上町観音堂の庚申塔

